



おかむら たけし
岡村 武

むかい は
無会派

榊原小学校のメタノール事件のいきさつは

問 以前から校長先生の説明員としての出席を要求してきたが、今回念願がかなって、出席いただいた。これを機に、学校現場の責任者である校長が議会へ出てきて教育論を議論していただきたい。私は、そういう思いでいっぱいである。

そこで、今回のメタノールの事件で、教頭と校長がどういういきさつで学校から学校外、敷地外に運んだのかお聞きする。

答 今回の件については、昨年11月初旬に用具庫を整理していたところ、メタノールの一斗缶を発見した。しかし、この時点で薬品台帳には記載されておらず、いつ購入をされたかもわからない状態で、早急に処分をしなければいけないとは思ったが、いずれ委託された業者に処理をお任せすると考え、施錠された用具庫へ納めた。

しかし、メタノールが台帳に記載されていなかったこと、認可された業者以外に適切にこのメタノールを処理できるはずがないという認識が抜け落ちていたことから、学校外への持ち出しを認めたことについては、判断の誤りである。

不適切な判断により、重大な結果を招いてしまった責任は大きいと思っている。

●その他の質疑・質問●

○津エアポートラインの減便について



▲世界へ通じる津エアポートラインの便数は開港当初に戻せ



さかい だ しげる
坂井田 茂

いっしん かい
一津会

岩田川堤防の護岸整備対策に関して

問 築後数十年を経て、劣化が激しい岩田川の堤防に関しては、5cmから10cmほどのずれやひび割れが目立ってきている。堤防沿いの地域に暮らす住民にとっては、河川増水時における大規模な浸水など、護岸について危惧の念を抱いている。

震災時にも対応できる、今後の強固な護岸整備対策の見通しを問う。

答 河川の下流部の堤防は経年劣化が見受けられることから、管理者である三重県が平成23年度に市内6河川における河川施設の緊急点検を実施し、対策が必要な31箇所について、平成25年度から順次対策工事を進めていただいております。岩田川については、9箇所において老朽化対策工事を進めていただいております。

既存施設の機能を保全する河川施設の維持管理は非常に重要であることから、早期に対策工事が完了するよう三重県へ強く働きかけているところである。

なお、耐震対策については、対策が必要な区間の河川堤防の改修にあわせて実施すると三重県から聞いている。

●その他の質疑・質問●

- 「みえスタディ・チェック」試行実施の課題は
- 教員の英語に関する免許・資格等に関して
- 津市教育委員会の「指導・助言」のあり方について
- 図書館施設内における「学習室」としての有効活用について
- 今後の文教政策と国際都市としてのまちづくり構想について など



▲ずれやひび割れが目立ち早期整備が必要な岩田川堤防